

葉ネギ



育苗

育苗中散水時に使用 ➡

- 根っ酵素1000～500倍液→根を強くし、生長を促進。
- 花咲くCa液1000～500倍 →葉を厚くし、充実させる。
※7～14日間隔で交互に、葉の上からタツプリ散布する。
- 花咲くCa液1000倍を適宜灌水4日ごと交互に。
※本葉4枚、定植7日前頃、花咲くCa液500倍液を散布する。

(10アール当り)

時期	方法	資材と施用法
本畑の土作り	なるべく早い時期に	<ul style="list-style-type: none"> ●ラクトバチルス600g →排水がよく、肥切れしにくい肥沃な土を作る。 ●堆厩肥500kg以上 ●硫安80kg ※もし通常の複合肥料なら、チッソ成分15kg程度。
本畑の整地時	整地・ウネ作り時に全面散布、 またはウネ上に散布	<ul style="list-style-type: none"> ●畑の大将〈青〉60kg ※土壌pH:6.5以上と高い場合は田畑の大将〈赤〉を施す。 ●マンゾク粒状50kg →生長促進、土壤病害対策。 ※特に速く生長させたい場合は、硫安20kgを追加。
定植時	定植前後の灌水の時に	<ul style="list-style-type: none"> ●根っ酵素 500倍液 →初期の根張り促進、病害軽減。
前半	葉面散布	<ul style="list-style-type: none"> ●根っ酵素500倍液を葉面散布 →根・生長を促進。 ※前半は特に根の力をつけることが大事。 ※葉先までピンと立ち、葉先が枯れないように、根を強化。 ★特に生長が弱い場合、根腐れの場合は灌水施用。 原液3～10ℓを灌水。(300倍前後) ●アミノ酸液 500倍を葉面散布。 (チッソ補給:肥切れの時に) ●花咲くCa液 500倍 →生育を引締め、葉の病害対策。 ※チッソ過多、灰色カビ、ベトが心配な時は、カルシウムを。
追肥	定植後30日以降、 状態によって施用 ※同時施用可	<ul style="list-style-type: none"> ●硫安20kg
		<ul style="list-style-type: none"> ●畑の大将〈青〉20kg ※土壌pH:6.5以上と高い場合は田畑の大将〈赤〉を施す。
仕上げ	収穫前10日頃、葉面散布	<ul style="list-style-type: none"> ●花咲くCa液 500倍 →葉を厚く充実させ、旨味が増し、品質が向上。